

日本語能力考試備戰系列

# N1 讀解習題集

[日] 桑山哲郎 編著

 上海外語教育出版社  
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS  
[www.sflep.com](http://www.sflep.com)

日本語能力考試備戰系列

# N1 讀解習題集

[日] 桑山哲郎 編著

 上海外語教育出版社  
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

图书在版编目(CIP)数据

N1 读解习题集/(日)桑山哲郎编著 一上海:上海外语教育出版社,2013

(日本语能力考试备战系列)

ISBN 978-7-5446-3022-1

I. ①N… II. ①桑… III. ①日语-阅读教学-水平考试-习题集 IV. ①H369.4-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2013) 第 012702 号

出版发行: 上海外语教育出版社

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 曹 艺

---

印 刷: 同济大学印刷厂

开 本: 787×1092 1/16 印张 7.75 字数 152千字

版 次: 2013年4月第1版 2013年4月第1次印刷

印 数: 3 100 册

---

书 号: ISBN 978-7-5446-3022-1 / H · 1475

定 价: 18.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换



# 前言

2010年7月起,新的日本语能力考试已经开始实施,本书就是根据N1级的读解出题标准而编写的习题集,笔者希望广大的学习者通过使用本书,能够更加系统合理地掌握N1读解所需的解题方法。

根据新出题标准,N1级读解的考察内容包括短文内容理解、中等长度文章内容理解、长文章内容理解、综合理解、长文章观点理解、信息检索等题型,不仅要求考生有足够的词汇量、语法知识和阅读能力,而且对考生的语感、灵活运用能力和信息检索能力都有一定的要求。

本书共包括七个单元,其中第一单元主要是各种题型的例题,通过解题的过程讲授各种题型的解题方法。考生通过这一单元的学习,可以更好地整理和复习N1读解的解题方法要点,从而起到温故知新、查漏补缺的作用。本单元以知识的整理为主,因此在学习的过程中可以查词典、找资料,也可以在课堂上老师的指导之下进行。后面几个单元按照N1读解真题的难度,针对各种题型设计了大量的练习,可供使用者了解和适应考试的题型,检验复习的效果,为参加考试做好准备工作。这部分练习最好独立完成,以检验和找出自己的薄弱环节,从而更好地进行有针对性的复习。习题都附有答案。

笔者一直在中国从事日语教育工作,在多年和中国的日语学习者打交道的过程中,积累了一些有关中国人学习日语和参加日本语能力考试的知识 and 经验,希望能在新的能力考试实施之际,将这些分享给中国更广大范围内的日语学习者。由于笔者水平有限,谬误在所难免,敬请读者批评指正。

2012年秋

桑山哲郎



# この本で勉強する皆さんへ

この本は、2010年7月から実施された新しい日本語能力試験 N1をめざす人のための、読解法の練習帳です。

## 1 新試験の合格点と基準点について

以前の試験では、[読解]が独立して出題されましたが、2010年からの新しい日本語能力試験では、[言語知識（文字語彙・文法）・読解]（110分）となります。ですから、[言語知識]の問題は早く済ませて、[読解]の問題にじっくり取り組む必要があります。

また、「得点区分」は、[言語知識 60点]、[読解 60点]、[聴解 60点]で[総合得点]は180点となり、全体の三分の一を[読解]が占めます。前の試験より、[読解]の分量も増え、問題形式も新しい問題形式が二つあり、総合的な読解力が重視されています。

新しい日本語能力試験では、総合得点が合格に必要な点[合格点]以上であること、各得点区分の得点が、区分ごとに設けられた合格に必要な最低点[基準点]以上であることの二つで合否判定が行われます。新しい試験では、[各得点区分]で、一科目でも基準点以下だと、他の区分で（[言語知識][聴解]）で点数がよくても、不合格になってしまいます。

ですから、新しい試験では、[読解]の得点が非常に重要となってきます。できるだけ早く、そして的確に文章の内容をつかむことが大切になってきます。

第1回（2010. 7）と第2回（2010. 12）の試験では、基準点と合格点は次のようになりました。

レベル	総合得点	合格点	基準点		
			言語知識（文字・語彙・文法）	読解	聴解
N1	180点	100点	19点	19点	19点
N2	180点	90点	19点	19点	19点
N3	180点	90点	19点	19点	19点

N1に合格するには、総合得点（180点満点）で56%以上、[読解（60点満点）]では、32%以上の得点が必要となります。

## 2 新しい読解問題の構成について

新しい読解の試験では、多様な領域からのテキスト（文章）をあつかいます。テキストの話題・内容は、学習に関するもの、生活の中で目に触れる実用的なもの、仕事に関するものなどが取り入れられます。また、テキストの種類は、説明文、意見文、評論、エッセイなどの他に、生活場面で目にする連絡や案内、仕事で使われる文書などです。テキストの形式は、一般的な文章形式の他に箇条書きや表の場合もあります。そして、テキストの長さも、レベルに応じて短文、中文、長文の区分けがあります。

新試験では、今までの試験と同様に、テキストの「細かい部分を注意深く読んだ的確に理解できるかどうか」を問う【内容理解】の問題が出ます。また、テキストの全体像を的確に把握し、大意を取ったり、キーワードをおさえたりする「全体を迅速に注意深く読む」読み方も必要です。また、論説文などのテキストでは、それが何を伝えるためのものか、そもそも筆者は何を言いたいのかを理解することが全体の内容理解には欠かせません。N1では【主張理解】を問う問題が出ます。

新試験では、新しい形式の問題が主題されます。一つは、複数のテキストを読み比べて、情報を比較・統合しながら理解できるかを問う【総合理解】問題です。もう一つは、お知らせやパンフレットなど、隅から隅までじっくり読んで理解するのではなく、読む目的に沿って、必要なところだけを探したり拾い読みしたりすることが多いタイプのテキストです。「情報素材」の中から必要な情報を探し出すことができるかを問う【情報検索】の問題です。

N1の新試験では、以下のような問題が出題されます。

- ①【内容理解（短文）】生活・仕事などいろいろな話題も含め、説明文や指示文

など200字程度のテキストを読んで、内容が理解できるかを問う。

- ②【内容理解（中文）】評論、解説、エッセイなど500字程度のテキストを読んで、因果関係や理由、概要や筆者の考え方などが理解できるかを問う。
- ③【内容理解（長文）】解説、エッセイ、小説など1000字程度のテキストを読んで、概要や筆者の考えなどが理解できるかを問う。
- ④【総合理解】複数のテキスト（合計600字程度）を読み比べて、比較・統合しながら理解できるかを問う。
- ⑤【主張理解（長文）】社説、評論など抽象性・論理性のある1000字程度のテキストを読んで、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめるかを問う。
- ⑥【情報検索】広告、パンフレット、情報誌、ビジネス文書などの情報素材（700字程度）の中から必要な情報を探し出すことができるかを問う。

【内容理解】【主張理解】の問題の形式としては、①下線部\_\_\_\_\_とは、どういうことか、\_\_\_\_\_と筆者が考える理由は何か、②（ ）の中に適当な言葉を入れる問題、③それ、これはは何を指しているか、④文章の中で筆者が最も言いたいことは何か、この文章から\_\_\_\_\_についてわかることはどんなことか、などといった問題が出題されます。

【総合理解】の問題の形式としては、①AとBどちらにも触れられている内容はどれか、②\_\_\_\_\_について、Aの筆者とBの筆者はどのような立場をとっているか、などといった問題が出題されます。

【情報検索】の問題の形式としては、○○を作るとき、何が必要か、○○に申し込める□□はどれか、などといった、必要な情報を見つける問題が出題されます。

【内容理解】【主張理解】【総合理解】【情報検索】の例題がそれぞれあります。【解法】のポイントをよく読んで、やってみてください。巻末に詳しい【解説】がありますから、なぜ間違えたのか、よく考えて、正しい答えを見つけてください。



# 目次

ユニットⅠ	例題と解法	1
ユニットⅡ	内容理解（短文）	5
ユニットⅢ	内容理解（中文）	13
ユニットⅣ	内容理解（長文）	26
ユニットⅤ	総合理解	52
ユニットⅥ	主張理解（長文）	63
ユニットⅦ	情報検索	90
解答と解説		104



## 例題と解法



### 例題

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

若い人たちはセンスのよい個性的な身なりをし、自由奔放ほんぼうに生活する人が多くなりました。これは結構なことなのですが、そういった若者がいったん世に出て就職したり、結婚したりして家庭をつくってしまうと、そういった個性がたちまちなくなってしまうのはどうしたことでしょうか。

どうも①このあたりの問題は、気にかかるところです。たしかに（ A ）がエゴイズムとしてのさばった（注）のでは困りものですが、あまりに没個性的であるのは、何か事のある時にみんないっせいに、“右にならえ！”になってしまいそうで、ぼくのような戦争をくぐり抜けてきた者には②いやな感じなのです。

（手塚 治虫『ガラスの地球を救え』による）

（注） のさばる：いばってふるまう

問 1 ①このあたりとあるが、「このあたり」とは、何を指しているか。

- 1 個性がエゴイズムとしてのさばること
- 2 結婚したり就職したりすること
- 3 若い人が自由奔放に生活すること
- 4 個性がたちまちなくなってしまうこと

【解法 1】 それ/その、これ/このは何を指しているかという問題は、普通は、それ/そのは、すぐ前の文がその内容、これ/このは、すぐ前かすぐ後の文がその内容となる。

筆者にとって、今の若者の①このあたりが気にかかる＝心配なわけである。すぐ前の文、「個性がたちまちなくなってしまう」、これがこのあたりの内容となる。解は、4。

問 2 ( A ) に入る最も適当な言葉は何か。

- 1 個性
- 2 若者
- 3 没個性
- 4 自由

【解法 2】 文章の中で何度も出てくる同じような語がある。これが鍵となる語、つまり、キーワードである。そのキーワードを見つけよう。

この文の中で、「若い人」「若者」は2度出てくる。「個性的」、「個性」、「没個性的」は何度も出てくる。これらの語がこの文章でのキーワードとなる。( A ) が利己主義的になりすぎと少々問題だが、全然個性がなくなる＝没個性的であるのは、筆者は嫌だ、と言っている。つまり、解は、1。

問 3 ②いやな感じとあるが、何がいやなのか。

- 1 若者が個性的で自由に自分がおもうように好きに生きていくこと
- 2 若者は個性が強すぎるので、利益のことだけ考えてみんな戦争をしたがること
- 3 個性的な若者が結婚や就職をしたりすると自己中心的な考えになってしまうこと
- 4 個性的な若者が社会に出ると、個性がなくなって同じような考え方をしてしまうこと

【解法 3】 下線部の内容が何か、問う問題は、その下線部のすぐ前の文か、すぐ後の文が答えである。下線部の前後をよく見てみよう。

このいやな感じは最後の行であるから、何がいやなのかは、すぐ前の文が答えとなる。

つまり、「あまりに没个性的であるのは、なにか事のある時にみんないっせいに、“右にならえ!”になってしまいそうで」「いやな感じなのです」が答え。「右にならえ」は、もともとの意味は、整列する時にかかる号令だが、ここでは“ ”の記号があるように慣用句で、無批判に、隣の人、他の人のまねをすること、という意味、すなわち、没个性的ということだ。

若い人が个性的に自由に生活している、このことはいいことだが、いったん社会に出ると、個性がなくなって、みな同じような考え、生き方をしてしまう。「どうしたことでしょうか」と疑問を投げかけている。よって、解は、4。

問 4 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 今の若者には、戦争に賛成するような考えはもってもらいたくない。
- 2 今の若者は、社会に出て働きだしたら、あまり个性的にならないほうがいい。
- 3 若いうちは、いつも他人のことはあまり気にせず、个性的で自由に行動するよう努めるべきだ。
- 4 今の若者は、社会に出てからも、個性を大事にし自分の生き方をしっかり持ってもらいたい。

【解法 4】 読解文の問題には、引用された書名がのっている。書名は、筆者がこの本で一番言いたいこと、つまり、この本のテーマである。だから、まず、書名を見てみよう。

書名は『ガラスの地球を救え』。ガラスは壊れやすい、そのこわれやすい地球に生きている私たちはどうすればいいのか、

これがこの本の大きな主題＝テーマであろう。

最後の行、「あまりに没个性的であるのは、…僕のような戦争をくぐり抜けてきた者にはいやな感じなのです」が、「結」つまり、筆者の主張である。解は、4。

一般に、ものごとの展開や物語などの長い文章の場合、四つの段落に分かれる。各段落の初めは改行してあるから、すぐわかる。四段落の構成を、起・承・転・結と言ったりする。評論文などでは、多くは「転」がない三段落の文章である。また、説明文や実用文では別の構成になる。

第1段落…起——文章・物語の話題つまりテーマである。

第2段落…承——話題の内容を発展させたり、深めたりする。

第3段落…転——話題を変えて、別の角度から述べたり、別の方向へ展開したりする。

第4段落…結——結論、締めくくりで、結びであり、筆者の主張にもなったりする。

起承転結を説明するのに、昔からよくあげられる例として、次のようなおもしろい俗謡がある。

[起] おおさかほんまち いとや  
大阪本町糸屋の娘

[承] 姉は十八、妹は十六

[転] しょこくだいみょう ゆみや  
諸国大名弓矢で殺す

[結] 糸屋の娘は目で殺す

(大阪の本町に、糸屋がありましてね。そこに娘さんがいるんですよ。——起・話題提供)

(上の娘は18歳でね、下の娘は16歳だって。——承・話題の発展)

(昔、お侍さん、弓矢で殺し合いしたんでしょ。——転・話題の転換)

(糸屋の娘さん、ものすごい美人でね、同じ殺すんでも、若い男を目で殺すんだって。——結・締めくくり)

## 内容理解(短文)

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

### 問題 1

音楽や美術、彫刻などの芸術（アート）は、聴く人、観る人の批評によって育てられる。悪い演奏をしたら、よくない作品を出品したら、その芸術家は次に表舞台に出る機会を失う。ところが、医師や看護婦が行う医療の実践（アート）を評価できる患者はつくられてこなかった。一般の人に知識を与えず、医療について評価できる患者がいない。だから医のアートが発展しないのである。これは患者にとってはもとより、医療者にとっても不幸なことではないか。

（「新しい日本語能力試験問題例集」日野原 重明「いのちの言葉」による）

問 筆者がここで最も言いたいことは何か。

- 1 きちんとした医療の実践ができない医療者は表舞台から去るべきだ。
- 2 医療者を不幸にしないために、一般の人にも医療の知識を持つべきだ。
- 3 医療も芸術と同様に、医療の良し悪しを評価できる患者が必要である。
- 4 悪い演奏や良くない芸術作品は、病院における医療事故と同じである。

## 問題 2

人類が文字を用いてことばを記すようになってからの歴史は、ことばの全史の中でほんの一ページにも満たない。同じように言葉と言っても、それを話すことと、書くこととは、かなりちがった世界のいとなみである。人間であるかぎり、ふつうだれでもことばを話すのであって、話すということは、いわば人間にそなわった自然の一部である。しかし、書くことはそうではない。ほっておけば人はいつまでも書くようにはならないのであり、話すことに比べれば、書くことはより自然から遠ざかる。

(田中 克彦『言語から見た民族と国家』による)

問 筆者がここで最も言いたいことは何か。

- 1 人が言葉を文字で書くようになったのは非常に古い昔のことである。
- 2 話すことができれば自然と書くこともできるのである。
- 3 話すという行為と書くという行為とはもともと全くことなったことである。
- 4 人間にとって話すということは自然なことである。

## 問題 3

日本人にとっては、自然は人間の対立物でもなく、ましてや支配する対象でもなかった。空気や水と同じく、人間をとりまくごくあたりまえのものであった。人間の力ではびくともしない豊かな自然、それがここ二十年の間に巨大な破壊技術の進歩によって、急激に破壊されはじめたのである。しかし、また日本人の心の奥には、自然は無限に豊かで、不落の城であるかのような印象が根を張っている。この状況が続けば、かつてのヨーロッパがそうであったように、否もつと恐ろしい形で日本の自然が破壊しつくされるであろう。そうなればもはや取り返しがつかなくなる。今のうちに自然保護と愛好の思想を育てなければならない。

(河合 雅雄『子どもと自然』による)

問 この状況とあるが、何を指しているか。

- 1 かつてのヨーロッパと同じように日本の自然が破壊され尽くして、もう元にもどることはないという状況
- 2 ものすごい破壊力がある技術が進んでどんどん自然が壊されているという最近 20 年の間の状況
- 3 技術が進歩して自然が破壊されているのに、自然は永遠に滅びることはない、と日本人が考えている状況
- 4 今の日本人には、自然保護と愛好の思想が育っていなくて、もはや取り返しのつかない状況

#### 問題 4

拝啓

( )、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、毎年恒例の文化祭を、来週の10月28日(金)に開催いたします。つきましては、日頃交流していただいている皆様を、文化祭にご招待したいと思います。当日は、地区大会で優秀賞に選ばれた演劇の発表や読書感想文の展示などがありますので、ぜひおいでください。お待ちしております。

敬具

問 ( ) の中に入る時候のあいさつとして最も適切なのはどれか。

- 1 虫の音が聞こえ始め、季節の移り変わりを感じるようになりましたが
- 2 青葉が目にしみる季節となってまいりましたが
- 3 厳しかった寒さもようやくやわらいでまいりましたが
- 4 しだいに秋も深まってまいりましたが

## 問題 5

東京の両国駅そばに巨大な、渋い緑色の屋根が誕生した。初場所を待つ新国技館である。この新しい大屋根が、①話題になっている。8,600平方メートルもある屋根全体が、雨水貯留の役割をはたすことになるからだ。屋根に降った雨はすべて、地下の雨水槽にためられ、冷房用水や水洗便所用に使われる。必要量の七割は雨水でまかなえる計算だ。水はさらに、防災用水や非常時の飲料水にもなる。効用はそれだけではない。雨が一挙に下水に流れこんで「洪水」を起こすのを防ぐ。

雨水の活用は、水資源を考える上できわめて大切なことだ。「雨を(A)、捨てる時代」から「雨を(B)、活用する時代」へと都市計画の哲学がかわりつつある。新国技館の大屋根にはだから、②いささか象徴的な意味がある。

(『天声人語』朝日新聞、1984による)

問1 A、Bに入る適切な語を選びなさい。

A 1 まかない 2 使い 3 流し 4 ため

B 1 まかない 2 使い 3 流し 4 ため

問2 ①話題になっているとあるが、なぜか。

- 1 渋い緑色の巨大な屋根をもつ国技館ができたから。
- 2 都市計画のありかたそのものを変えるような建物だから。
- 3 「洪水」を防ぐように設計された建物だから。
- 4 屋根が降った雨の水をためる機能をもっているから。

問3 ②いささか象徴的な意味があるとは、何の象徴の意味か。

- 1 両国という街
- 2 水資源
- 3 大相撲
- 4 都市計画の哲学



## 問題 6

知識をあつめるときに、系統的蒐集しゅうしゅうということが大切である。なんでも、おもしろそうなのは片端からとり入れたりしていると、雑然たる断片的知識の山ができてしまう。調べる前よりもかえって頭が混乱してくる場合すらある。

調べるときに、まず、何を、何のために、調べるのかを明確にしてから情報蒐集にかかる。気がせい(注)いて、とにかく本を読んでみようというようなことでとりかかると、せっかく得られた知識も役に立たない。

(外山 滋比古「思考の整理学」による)

(注) 気がせい(注)いて:焦って

問 筆者がここで最も言いたいことは何か。

- 1 知識を集めるには、おもしろいと思うものを取りあえず集めることが必要だ。
- 2 知識を集めるには、意図や目的をはっきりさせてから取り組むことが大切だ。
- 3 知識を集めるには、とにかくいろいろな本を読んでみる大切だ。
- 4 知識を集めるには、自分が興味があると思ったものはすべて集めるようにする。

## 問題 7

地球全体が情報化時代にはいり、情報産業の比重がつよまるなかで、日本は電気製品やカメラなど、そのハードウェアの製品ではかなり有力な地位をしめている。ソフトウェア、つまり情報をつくりだす側面では、これまで日本は情報の受け手の側にたつことがおおく、おくり手としての役わりはかぎられたものであった。しかし今後アジアの先進国のひとつとして、おくり手としての役割もはたしてゆかねばならないし、ヨーロッパ、北アメリカとな